

Stage 3 More Stories A

Kipper the Clown

■ チェック！

P1 受付から始まっています。サーカスのお客さんになった気分、キッパーたちの演技を見ていきましょう。

P1 パパは、既に疲れているようにみえますね。会場づくりを手伝ってくれたのかもしれませんが。P2-3 左端に靴が見えているのは、誰でしょう？P4-5 フロッピーは、おもりを破裂させてしまいました。おもりは風船で作っていたのですね。

P6 キッパー以外みんな颯爽と演技をしています。P8-9 ビフがひっくり返してしまいました。P12 ウィルマは何をヘルメット代わりにしたのかな？(ボウル？)

英語表現

_____ was fed up. (P11)

fed up・・・「あきあきしている」、「うんざりしている」

■ 子どもと話してみよう！

自分がやりたいのに出られない。こんなとき、どうする？

P11 キッパーはいつから嫌になっていたのでしょうか？最初からみてみましょう。P2 キッパーはフロッピーに邪魔されてしまいました。P4 キッパーの表情は曇っています。

P8-9 キッパーはおやつの手伝いにも参加せず、P11 Kipper was fed up.につながっていきます。その理由は、P12 キッパーは本当はスタントマンをやりたいのですね。強引にスタントマンを始めましたが、補助輪付きの自転車でやるのは無理なこと。P15 みんな驚いて心配しています。学校生活でも、自分が望むものをやりたいのにできないという場面は出てきますね。自分だったらどうするか、話してみましょう。





■ やってみよう！

小さいお子さんに！

表紙に、赤や黄色や青の丸い形がたくさんありますね。英語で数えてみましょう。

■ サーカスのプログラムを作ろう！

本文中に、P1 Circus や、P4 Strong MAN、P6 Gymnasts、P10 の Stuntman の看板の文字が出ています。大文字と小文字、筆記文字の違いに注意して、プログラムを作ってみましょう。

プログラム例)	
Kipper The Clown	
Chip The Strong Man	
The Jumping Beans Amazing Gymnasts	
SNACK TIME	全員
Wilf The Wheels Stuntman	

* The Jumping Beans という体操教室があるそうです。

Gymnasts 体操競技, Wheels 車輪、Stuntman スタントマン

Strawberry Jam

■ チェック！

P2 壁の穴から目が見えていますね。P3 カタツムリがじょうろにいます。(駆除剤を使っていないのですね。)P5 ウィルフとウィルマも一緒に取り放題へ行ったのですね。キッパーが飛びあがって喜んでいます。P8-9 アイスクリームを食べているのは、農園の受付の人ですね。P13 ビフはアイスを落としてしまいました。



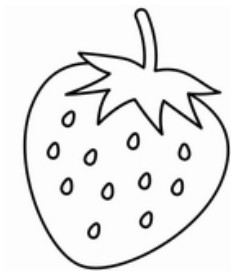
■ 農園の受付の案内を見てください。

「pick-your-own」取り放題。

キッパー一家が訪れたファームで取り放題なのは、イチゴのほかに、Loganberry ローガンベリー、Redcurrant アカスグリ、spinach ほうれん草となっています。

←左は Redcurrant。ジャムや果実酒のほかに、ケーキに使われることもあります。

イギリスの取り放題は、日本の食べ放題とは違い、一般的に入園料は格安で、試食は味見程度で、取ったものを購入し持ち帰るところが多いそうです。



■ やってみよう！

キッパーと同じ農園でイチゴ狩りしよう！

小さいお子さん向け)P6-7 の絵の上に、小さな手描きのイチゴを貼って、いちご狩りをしましょう。

参考) Let's go strawberry picking. (いちご狩りに行こう)

I like strawberries. (いちご、好き)

How many strawberries are there? (何個ある?)

One, two...Ten. (1, 2, ...10)

There are ten strawberries. (10 個あるよ。)

■ 子どもと話してみよう！

いちごを取るときに、どんなことに注意したらいいでしょうか？

・熟しているものを取る。いちごを踏まないこと。



手作りプリント

いちご狩りに夢中になって、順番がバラバラになってしまいました。

正しい順番に並べ替えるお手伝いをしてください！

P1	Dad/ jam / wanted to/ make
3	too /they/ were/ small
9	car /locked/ the /was

The Jumble Sale

■ チェック！

* お子さんと話すとき、チェックしてみてください。

表紙: バザーの様子に分かりますね。ハート柄のパンツを見ている人がいます。P1 ピエロのおもちゃが出てきました。キッパーはよくピエロごっこをしています、小さい頃これで遊んでいたのかもしれませんがね。

P2-3 壁に DIPLOMA と書かれた額がありますね。賞状や卒業証書などの意味です。ママがキッパーが着ているオレンジ色のボーダーの服を持っています。サイズは小さそうです。P4-5 結局、オレンジのボーダーの服は、バザー候補の箱に入れられました。

P11 バザーは大賑わいです。緑の布を取り合っている女の人や泣いている男の子がいます。P14 ウィルフも帰っています。

■ 考えてみよう

- ・キッパーたちは、どうして自分たちが出したおもちゃや服を買ったのでしょうか？
- ・自分はもう使わないけれど、他の人なら使うかもしれないというものはありますか？

スプリングクリーニング(春の大掃除)

日本では大晦日に向けて大掃除をしますが、欧米では、冬の間の暖房のすすを掃除するために、春に大掃除するのが習慣になっていったそうです。

Jumble Sale って何？

日本語で言うと蚤の市やバザー。学校などへの寄付を目的としているそうです。表紙に Jumble Sale が描かれていますね。ORT のお話を読んでいくと、古いものも大事に使われているシーンが多く出てきます。家庭で役目を終えたものが、必要な人に渡る機会になるのがいいですね。



手作り英語プリント

お話の一部です。空欄を補って音読してください。

The Jumble Sale

Mum and Dad were spring-cleaning.

Mum looked in a _____.

Dad threw things out. The children looked at the _____.

They played with the old toys.

Mum put the old _____ in the car.

The children were sad. They all went to the Jumble sale.

The children wanted to buy _____.

“What a lot of junk, “said Wilf.

drawer	toys
junk	something

At the Seaside

■ チェック！

P1 一家の休暇で旅行です。ウィルフやウィルマも一緒に来ています。P4 ホテルには、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランスの国旗が立てられています。

■ やってみよう！

キッパ一家のホテル探しをみてみましょう。

宿泊するのは誰？

- ・大人(パパ、ママ)・子ども(チップ、ビフ、キッパ、ウィルマ、ウィルフ)
- ・ペット(フロッピー)

ホテル	
Palace Hotel	子どもたち:なんて高級なホテル！泊ってみたい。 ママ:宿泊代が高いからダメ。
GRAND HOTEL	パパが断りました。NO PETS と書かれてあるけど、猫も犬もいっぱいいます。 * 子どもたちはどう思っているかな？
GUEST HOUSE *	満室(* 朝食と宿泊があり格安。家族経営のところが多い)

P8 子どもたちは、疲れてきました。チップは、P6 でもあくびをしていますね。

P14-16 2階建てバスは、どんなところが気に入ったと思いますか？

例)キッパ一家の家の庭と似ているところ。(薔薇の花が咲いているところまで似ています。)のんびり遊べるところ。

■ 小さいお子さん向け

2階建てバスに泊まるなら、
バスのどこで寝る？

バスの窓から顔を出している
様子を想像して、
お絵かきしましょう。



手作りプリント

At the Seaside のお話の一部です。ホテル探しで疲れて、
単語が消えてしまいました。空欄を補って、音読してください。

Every hotel was _____.

“Sorry!” said _____.

They had to go home. But the car broke down.

A farmer stopped his _____.

“Can I help?” he said. The farmer had a bus,

“You can _____ here,” he said.

“What a good holiday!” said Wilf.

full	tractor
everyone	stay

Kipper's Idea

■ チェック！

P2 キッパーがパパと通っている図書館ですね。Stage 1 The Library に出てきます。P4 お祈りしている人や、泣いている人がいます。子どもを学校に連れてきた親御さんのようです。

P6 いたずら描きをしている子は、身長からキッパーたちより少し年上のようにみえます。壁には、キッパー以外の子の悪口も書かれてあるようです。P12 グリーン先生は、チョークを使って下絵を描いていますね。P14 意地悪をした女の子の一人がメイ先生のそばにいますね。

■ 聞いてみましょう！

P14—15 キッパーたちが描いた絵が完成しました。この絵をどう思いますか？



P11 キッパーはどんなことを思いついたのかな？

■ 親子で話してみよう！

P6 -7 アイデアを考えたキッパーをどう思いますか？

ORT で、いじめや、意地悪なシーンが出てくるタイトル

Stage 4 The Scarf, Stage 5 Village in the Snow, Level 7 The Bully、また、からかわれるシーンは、Stage 2 Kipper's Laces にも出てきます。

■ やってみよう！

自分の顔を描いてみよう！

例) P10-11 を開いて、お子さん自身についてふれてみましょう。

髪の色 I have black hair.

目の色 I have () eyes. (色)

年齢 I am () years old.

好きなもの I like ()。食べ物など



手作り英語プリント

Kipper's Idea の一部です。建物や場所を表す言葉が消えてしまいました。

_____を補って、音読しましょう。

Dad took Kipper to _____.

They went past the_____.

A lady was painting the wall.

Kipper ran into the _____.

He wanted to play.

school	library
playground	

The Snowman

■ チェック！



P1 ママがキツパーにマフラーを巻いています。P2 車の後部座席のおじさんが子どもたちのほうを見えています。キツパーは、右手の手袋をとって雪玉を持っています。P3 ウィルフは、雪を掃きだしていますね。P4 キツパーはもう片方の手袋もとってしまいました。P6-7 キツパーは手が冷たくなって、ふうふう温めています。フロッピーはどんな気持ちかな？ P4-9 雪だるまが大きくなっていくにつれて、芝生の上の雪が減っていっていますね。P11 パパが気づいたようです。ウィルフがドアをノックしたのかな？

P16 パパの頭に雪が落ちてこなかったのは、なぜでしょう？ パパを雪だるままで驚かせようとしていた子どもたち。自分たちが雪だるまのようになってしまったというお話ですが、実は、雪が落ちてくる予兆はありました。P10-15を見返してみましょう。



P4, P8 ビフとウィルフはどんなことを思いついたのかな？

■ やってみよう！（小さいお子さんに）

雪だるまの鼻がにんじんですね。これに小さな子は、興味津々です。雪だるまはサンタさんと一緒に描かれることが多いので、子どもは大好きなのです。

にんじんの他に鼻を作るなら何にするか、台所や冷蔵庫の中、スーパーなどで、お子さんと探してみましよう。

■ お話に沿って、英語で話しかけてみよう！

本文中の文章が返答になっています。英文をカードなどを書いて、そのカードを見て答える方法でもOK。

P1 What did the children say?

P2-3

Who did they see?

What was Wilf doing?

P4-5

What did she make?

P6-7

What did everyone do?

What did Floppy do?

P8-9

What did he want to play?

P10-11

What did the children make?

12-13

What did he see?

P14-15 What did Wilma's mum do?

What happened to the snow?

P16

What did Wilma's dad say?

著者: 森藤ゆかり

「2000年、英語子育てサイト「R-Train」を開設。
以降、20年以上に渡り、英語子育て中のお母さんたちと情報交換を続けている。

息子りくくんが、ORTに出合ったのは4歳。
現在、バイリンガルに成長したりくくんの子育てや、コミュニティでの経験から、
英語が苦手なお母さんでもできる、英語の絵本に親しむアイデア、
また、家庭教育について幅広く発信している。

著書「+(プラス)えいごではなまる子育て」(アルク)「はじめての絵作文ブック」(すばる舎)ほか」